

高性能ウレタン系接着剤



取扱説明書

AG-01S

ご使用前に必ずお読みください

- このたびはオートグリップ AG-01S をご購入いただき、まことにありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
- お読みになった後は、いつでも見られる所に大切に保管してください。

2017年4月現在



サンコーテクノ株式会社

使用上のご注意

- ご使用前に、この「使用上のご注意」を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- ここには、安全に関する重要な内容が記載されていますので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、必ずお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
- 当社は製品安全データシートを保有しています。
製品安全データには、健康と安全のための情報が記載されています。
取扱いは、当社製品を使用される前に安全データシートを必ずお読みいただき、ご理解いただけますようお願いいたします。
- 注意事項は「注意」・「警告」に区別して記述をしています。
お守りいただかないと作業者が死亡・または重症にいたる恐れのある注意事項は「警告」、作業者が障害を負う人身事故につながる恐れのある内容および本機の破損、故障が発生する恐れのある注意事項を「注意」として記載しています。
なお、「注意」と記載された事項であっても、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容を記載してありますので、必ずお守りください。

警告

- ① 使用する際は保護めがね、保護手袋(ゴム手袋等の不浸透性手袋)および防毒マスクを着用してください。
 - ・眼に入った場合は視力の低下、または失明などけがの原因になります。
 - ・皮膚に付着すると、アレルギー反応により障害を及ぼす恐れがあります。
 - ・吸入した場合、喘息または呼吸困難を及ぼす恐れがあります。
- ② 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・風通しの良い、広い場所で使用してください。
- ③ 皮膚や衣類に樹脂が付着しないように注意してください。
 - ・かぶれの原因となるため、付着した場合は洗剤等で洗浄してください。
- ④ 樹脂をこぼした場合はすぐに拭き取ってください。
- ⑤ 使用後は必ず中性石鹼で手や腕をよく洗い、うがいをしてください。

注意

- ① 本来の用途以外には使用しないでください。
 - ・思わぬ事故の原因になります。
- ② 熱源や火気のある場所では使用しないでください。
 - ・火傷や事故の原因になります。

AG-01S の特長

- 高性能ウレタン系接着剤オートグリップ AG-01S は「2液性」で、プラスチックや金属の接着シーリング、補修等に優れた性能を発揮します。
- つける・埋める等の用途に優れ、硬化後には、切る・削る等の作業が容易に行える万能接着剤です。
- 強度・柔軟性・耐振動性の全てにおいて、高いレベルの性能が発揮されます。
- 常温で2年間の長期保存が可能です。
- オープンタイム（可使用時間）が90秒以内で、硬化時間が短く、急速に接着力を発揮する製品です。

オープンタイム	90秒以内	混合された接着剤で接着作業をおこなえる時間。 (ミキサー内でも硬化が進みます)
クランプタイム	5分以上	接着開始から、固定が必要となる時間。 (この間に接着剤の反応が進み、初期強度が得られます)
サンディングタイム	10分以上	さらに反応が進み、カッター・サンダーを使用した成形や加工がおこなえる時間。

※上記設定タイムはすべて環境温度 23℃となります。23℃を基準に±7℃の変化でオートグリップの反応速度は約2倍変わります。

構成

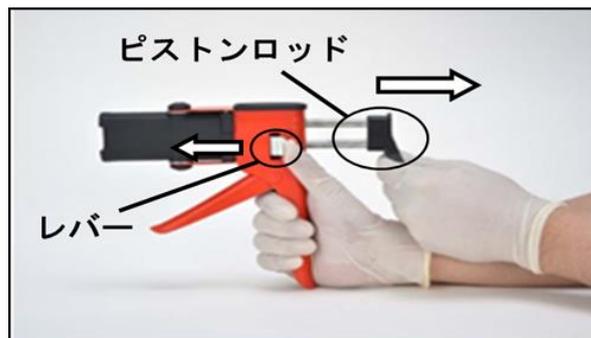


- ① オートグリップカートリッジ AG-10
25ml+25ml（合計 50ml）の並列（ツイン）カートリッジ式となっており、「主剤」、「硬化剤」が充填されています。
一度使用し、余ったカートリッジ内の樹脂は、説明手順に従い、適切な保存状態を保つことにより、再度使用することが可能です。
- ② ミキサー
ミキサーは、カートリッジ1本につき2本付属されています。
※別売品として、AG-MXS（10本/パック）での販売を行っています。
- ③ オートグリップ 50ml 専用ガン AG-GNSS
オートグリップ AG-01S を使用の際は、カートリッジ内の「主剤」と「硬化剤」を同時に同量、吐出が可能な「手動式」の AG 専用ガンが必要になります。

使い方

1. AG-GNSS にカートリッジを取り付ける

- ① レバーを前方に押し込みながら、ピストンロッドを最後まで引きます。



- ② ガン先端部を回転させ、カートリッジを挿入します。カートリッジ挿入後、ガン先端部を元の状態に戻し、ピストンロッドをカートリッジに接するまで軽く押します。

※強く押すと、ミキサー取り付けの際に接着剤が出る可能性があります。



2. AG-GNSS にミキサーを取り付ける

- ① カートリッジ先端のカバー（蓋）を左に回し外します。
- ② トリガーを引き、先端から接着剤が吐出することを確認し、吐出した接着剤をきれいに拭き取ります。（カラ打ち作業）
- ③ ミキサーを右に回して、カートリッジ先端部に取り付けてください。



3. 施工を行う前に

- ① トリガーを引くことで、ミキサー内で樹脂が混合されます。「主剤」「硬化剤」のバランスを均等にするため、施工を行う前には必ずダンボールなどにノズル先端をつけ、数センチほどの捨てショットをしてください。

※捨てショットをしない場合、硬化不良となる恐れがあります。

「滑らか」で「艶がある」状態が適切な混合です。



4. 施工を行う際に

- ① 施工を行う際、接着箇所に対してノズル先端部を押し当て、AG-GNSS を動かすようにして塗布します。可能なかぎり、空気を巻き込ませないように施工してください。



5. 施工を止める際に

- ① ピストンロッドを下側にして、カートリッジの圧力を抜いてください。
※カートリッジ内の圧力が残っている場合、ミキサーの先端より少量の接着剤が出続けます。
- ② ミキサー内に残った接着剤は急速に硬化が進みます。
トリガーを引く力（圧力）が重くなった場合には継続して使用せず、ミキサーを取り替えてください。
無理に力（圧力）を入れ作業を継続した場合、カートリッジ底部やミキサー接続部より、**接着剤の液漏れが発生**する場合があります。
※ミキサー交換時間の目安は、吐出停止から約 45 秒後になります。（環境温度 23℃時）

6. カートリッジ内に残った接着剤を保管する際に

- ① ミキサーを取り付けた状態で保管をします。
ミキサーをカートリッジに取り付けた状態で保管することにより、ミキサー内で硬化した接着剤が内栓の役割を果たします。
- ② ミキサーを上にして、立てた状態で保管してください。
※ 内栓を使用して保管する場合、「主剤」「硬化剤」の栓を誤って逆に入れてしまうと、吐出部を硬化させてしまう恐れがあるため、お勧めできません。
※ 直射日光を避け、密閉容器で 15℃～30℃の室内に保管してください。
※ 再度使用する場合は、ミキサーを取り付ける前に必ずカラ打ち作業を行ってください。



7. カートリッジの廃棄

- ① 接着剤はすべて吐出し、カートリッジ内を空にしてください。
各地方自治体の処理方法に従い、空容器の廃棄をしてください。

接着面の下地処理

金属

オートグリップの性能を十分に引き出すために、金属の生地のサンディング・脱脂を十分に行ってください。金属に塗装がある場合には、塗装によって接着面の腐食は保護されます。サンディング・脱脂を十分に行った後、接着してください。

※金属に塗装がある場合の接着力は、金属と塗装の密着力に依存します。

FRP

ハンドレイアップ・SMC・ゲルコート等すべてのFRP表面処理は、アセトンやシンナーなどで接着面の油分を取り、サンディングした後、粉・ほこりをきれいなウエスで払い取ります。

※ゲルコート部分は、FRP部と比較して材質が弱いため、サンダーを使用して削り取ってください。

木材

乾燥した表面で、粉・ほこりを落とした状態にした後、接着作業を行ってください。

※木材の種類によっては、酸性が強く、接着剤の硬化を阻害し十分な接着力が得られない場合があります。そのため、使用前には同一材料でテストを行ってください。

熱可塑性プラスチック

ポリプロピレンやアクリル等の熱可塑性(熱で溶ける)プラスチックは、多くのメーカーが多種多様な製品を生産しています。オートグリップは多くの熱可塑性プラスチックで接着力を発揮しますが、種類によっては、「適切な表面処理により強力な接着力を得られるもの」から、「接着力を得られないもの」まで、さまざまな結果となっています。

※使用前には必ず、同一材料でテストを行ってください。

応急処置

- 接着剤が眼に入った場合、瞼を開いたまま、必ずすぐに流水で十分に洗い流してください。洗眼後、必ず医師の診断を受けてください。
- 接着剤が手、指、皮膚に付着した場合、石鹼で十分に洗ってください。
- 接着剤を吸引・摂取した場合は、すぐに医師の診断を受けてください。

廃棄上の注意点

- 廃棄物の処理・清掃に関する法律および都道府県の条例等に基づき、廃棄処分してください。または、許可を受けた処理業者に委託してください。
- 使用後のノズルおよび空容器は、廃プラスチックとして廃棄してください。
- 接着剤の付着した布は密閉容器に回収し、産業廃棄物として廃棄してください。
- 内容物は、河川・土壌等の環境中に投棄、漏洩させないでください。

輸送・保管上の注意点

- 容器に漏れがないことを確認し、転倒、落下、破損がないように積込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
- 直射日光を避け、密閉容器で15℃～30℃の室内に保管してください。
- 熱源、火元等のある所には絶対に置かないでください。
- 開封後のカートリッジは早めにご使用ください。



機能材本部 機能材営業部 マテリアルグループ
〒270-0107 千葉県流山市西深井 1028-14

TEL : 04-7155-6300

FAX : 04-7155-6325

<http://www.sanko-techno.co.jp/>